

## 平成 26 年度第 9 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 27 年 1 月 27 日（火） 17：00 ～ 17：55

【場 所】 望来コミセン みなくる ホール

【出席者】 10 名（15 人中）

| 役 職 | 氏 名       | 出欠 | 役 職 | 氏 名       | 出欠 | 役 職 | 氏 名     | 出欠 |
|-----|-----------|----|-----|-----------|----|-----|---------|----|
| 会長  | 佐 藤 勝 彦   | ○  | 委員  | 小 山 玲 子   | ○  | 委員  | 前 田 和 也 | ○  |
| 副会長 | 渡 邊 教 円   | ○  | 委員  | 今 光 江     |    | 委員  | 美 馬 康 子 | ○  |
| 委員  | 大 黒 利 勝   |    | 委員  | 柴 田 志 寿 子 |    | 委員  | 盛 重 栄 司 |    |
| 委員  | 小笠原 英史    | ○  | 委員  | 柴 田 肇     | ○  | 委員  | 築 田 敏 彦 | ○  |
| 委員  | 河 野 す み れ | ○  | 委員  | 高 橋 敬 二   | ○  | 委員  | 吉 田 美 香 |    |

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ～ 企画課 上窪主幹・門井主任

支 所 ～ 尾山支所長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・相原主幹・渡部主任・永澤主任・寺内主任

(地域振興課)

地域おこし協力隊 ～ 小島隊員

【傍聴者】 0名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流（リラックス タイム）  
・地域の「ちょっといい話題」交流

4. 報告事項

・ウインターレク フェスタ  
2月15日（日） 9時30分開会式 厚田公園（旧スキー場）

5. 協議事項

・10年目を迎える地域協議会のこれから

6. その他

・次回会議の日程について

7. 閉会

## 1. 開会

高田課長： 皆さんお晩でございます。地域協議会に入る前に、大黒委員、柴田志寿子委員、今委員、盛重委員、吉田委員の5名から欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

平成26年度第9回石狩市厚田区地域協議会を開会致します。会長から挨拶をよろしくお願い致します。

## 2. 会長あいさつ

佐藤会長： 皆さんお晩でございます。まだ1月中でございますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。今年はどうでしょうかという事で、皆さん一人一人に今年の抱負をお聞きしたいところですが、私の挨拶として私の抱負としましては、この第5期委員の皆様と検討を続けて参りました複合施設ですが、一步前進か半歩前進かは解りませんが、着実に前に進んでおります。ですからこの5期の委員の皆様方と一緒に、この複合施設が出来る事を喜べるのではないかなという淡い期待を持っております。

重点「道の駅」という事で、支所長はお解かりかと思いますが、2月の中旬位までには発表になるのではないかなという事で、選挙があった事もあり一月位先送りされてしまった訳で、それで採用されなくても頑張りたいと言わざるを得ない訳ですが、重点「道の駅」は20箇所となっております、全国からの要望が110箇所位出ているので、大よそ5倍です。5倍というとあの札幌にある小中高一貫校である開成中学校とほぼ同じ倍率ですので、上手く通るかどうかなというのを期待しております。そういう事で私としては、今年はその実現に向けて皆さんと一緒に頑張りたいと思っておりますという事で、今日はその後、皆さんと新年会の会合で夢と厚田に元気をもたらす話が出来ればと思いますので、今日はどうぞよろしくお願い致します

## 3. 情報交流（リラックス タイム）

## 4. 報告事項

- ・ウインターレク フェスタについて（厚田支所 地域振興課 高田課長から口頭説明）

## 5. 協議事項

### ・10年目を迎える地域協議会のこれから

佐藤会長： 次は、従来ですと協議事項に入る訳ですが、今日は18時から新年会という事で、討議の時間としては残り30分程度となりまして、これを“座談会形式”へと変更し、これからずっと延長で新年会の会合までを引きずっていきたいと思いますので、その前に「6. その他」を先進めたいと思いますので、「6. その他」の部分のご意見をお持ちの委員さんはいらっしゃいますか。

次回の日程に関して、石狩市の総合5ヵ年計画を立てる審議会がある訳ですが、その審議会の会長をしております北海道大学の蛸子先生という方がおりまして、その方の大学の大学院生が厚田の地域協議会を傍聴したいというご意見がありましたので、一応、2月の開催日程を知らせる事になっておりまして、4～5名が傍聴に来ると思いますがよろしいでしょうか。

【了承の声あり】

佐藤会長：

10年目を迎えるこの第5期委員の人達は、所謂、節目の委員という事になり、来年度の9月まで約8ヶ月間ございます。この地域協議会のこれからという事で、新年を迎えてこれからどうしていくかという事を皆さん達とざっくばらんにという事で、先ほど私が少し言いましたけれども、地域の集落の中心となるような複合施設が出来れば良いなという事で、第4期からの課題を第5期が受け取って実現しようとしてきた訳で出来れば良いですよねという事で、そういう事も含めてこれからというような話を皆さん達からいただいて結論を出す訳ではございませんが、それを持って新年会場で堅苦しい話ではありませんが、そういう夢や希望を語り継いだりしようという事が意図されております。それで口火を切ってという事とあれですが、私が先ほど半歩前進したような感じが致しますと言ったのには実は根拠がありまして、今月の19日月曜日に全国重点「道の駅」20箇所を指定するという事で全国に募集して締め切られた訳で、第8回の地域協議会の時にはそういう複合施設を作る為にはそういう財源が必要だという事で、石狩市が十分な財源を持っている訳ではありませんから、なるべく国のお金をいただいて、なるべく石狩市と言いますか私達の税金を全部注ぎ込むのでは無く、国の支援でそれを出来ないかというのが、重点「道の駅」の構想なんです。ですから、ギリギリの第8回厚田区地域協議会において、皆さんからご理解を得て申請書を出しました。それが今言っている「道の駅」構想になる訳ですが、全国から110箇所位の提案が出ておりまして5倍程度の倍率となります。まず選ばれるのではと思っております、この1月19日に田岡市長と私と高田課長という事で、こちらから3名で太田大臣に会って参りました。同じ大臣と言っても、私は文部大臣室というのは何度か入った事があった訳ですが、建物の違いもあるとは思いますが、格が違うと言いますか非常に広い部屋があり、そこに関わっている大臣室の方で役人の方なんです、そういう方が非常に多くて文部省の時には大体7～8人位しか大臣室付きの方がいなかった訳ですけども、太田大臣の所には17～18人位がいて、約倍な訳でしたというところで緊張はしなかった訳ですけども、一応こういう形で厚田の方で「道の駅」を構想していますという事を訴えて参りました。太田大臣は厚田の事を良く知っておりまして、あそこねという事で色々話しもございましたし、市長は何回も会っていますから、冬季の除雪の件でも会っておりまして、少し話は反れますが、除雪に関して1月の段階で既に1億円がマイナスとなっているそうです。2、3月とどういう風に予算をといた時に、先ほども言いましたように私達の税金だけで冬の除雪に何億もの赤字を出す訳にはいかないの、お願いをして国からその補助金をいただく訳です。一昨年位にもいただいたようですが、今年も既にマイナス1億なのでそういう事も更にもお願いをしておりまして、市長はそういうお願い事は慣れているんだと思いますが、私は大変緊張しましたという事で、「道の駅」の構想を日本海側で余市町から小平町まで距離にすると200km程度になりますが、この間は「道の駅」が無い訳であり、その丁度中間と言いますか厚田は風光明媚であり、雪害もある訳でそういう一時避難であったり、勿論、日本海側なので津波や何かの避難という事も含めて大変重要な地点ですねという認識はいただいております。ですから先ほど言ったとおり半歩前進したかなというような形で、そして大臣は、全国から110箇所位出ているのを精査する訳ですけども、それは有識者会議の中で選んでいただいて決めるらしいのですが、道路局長が最終段階は大臣が決めるんですよねと念を押しており、有識者が決めても鶴の一声で大臣が決めるのですねと道路局長が言うておりましたので、ますます期待が膨らんでしまうという話の内容でしたというような事がありました。皆さん達が情熱を持って複合施設を造りたいという熱い想いが少しは伝わったのではないかなという気

がしておりますという事で、二月中旬の発表を高田課長は五分五分で期待して下さいと言っておりましたが、私は四分六で大丈夫かなと思っております。この一割の違いはどこかというのはまた、この後の新年会の中でお話出来ればと思っておりますというのが1点。

もう1点ございまして、これは前の地域協議会の時に皆さんに議論していただいて了解を得ました「10年を節目」として、今までの地域協議会がしてきた事とこれからどうするかという事がある程度の冊子にまとめて、厚田区の皆さん達にお渡ししようという事になっております。これはそろそろ始めないと良い物を作る為には結構時間が掛かるので、その良い物とは何かと言ったら膨大なハンドブックでは無く、厚田区の住民がこんな面白い事をしているのなら自分達も参加してみようかなという想いに駆られるような中身にしたいという事です。それには皆さんのアイデアをいただきながらこういう事をやっているのかとか、それだったら自分達も参加出来るのかなとか、或いは隣近所の人を誘ってこういう事をやってみようかとか、こんなイベントをこういう人達が仕掛けてそれをやっているのであれば、それに参加出来るかなというようにこれまでの事も重要ですけども、これまでの事をコンパクトにまとめて、これから地域の住民が過疎化し、少子化してくるようなこの地域になるべく多くの人に魅力を感じ、そこに来てもらえるような地域の住民が元気になってこんな事もしているんだよという事を今度は、札幌や道外の人達にPRしながらあそこに行って滞在してやってみようかとか、そういう想いが抱けるような私達の夢や希望や元気など、そういう事をそこに盛り込めたらなという風に思っておりますので、そういう事も是非、協力していただきたいなと思っております。第5期は結構、面白い事が出来そうな期なので、皆さんとこれからも一緒に残り8ヶ月をかけてやっていきたいなと思っておりますので、その点、また皆さん達のご意見や事務局の意見を聞きながらやっていきたいなという風に思っております。今、私が2点言いましたけれども、その他にも皆さん達からご意見やこの二つの事に関してでもよろしいので、座談会風に皆さん達のご意見をざっくばらんにいただき、良いとか悪いとか審議をする訳ではありませんので、色んなご意見をいただきたいという風に思っております。皆さん達からご意見が無いと、また私がしゃべってしまいますから是非、皆さんの想い・考え・アイデアを出していただきたいと思います。委員の方々は勿論そうですけれども、こちらにいる事務局の方々からご意見をいただきたいと思っております。尾山支所長も座談会なので遠慮なさらずにリラクスタイムの続きというような感じでお願い致します。

尾山支所長： 前期の委員さんから引き継がれた「近説遠来」を支所と言いますか、厚田区として実現に向けて色々行動しなければならぬというのがあると思いますけれども、ただ、行政主導型になってしまうとどうしても長続きしないというのが今までの実例でありますので、この中に今までやってきた支所と地域住民が一体となった取り組みを続けていきたいなという風に考えていますので、遠慮せずに皆様方がこういうものをやりたいだとか、こういうものがあつたらいいなというものを市の方へ提言していただきたいなと思います。自分も今まで行政にずっと携わってきて、補助金を出す窓口を経験してきましたけれども、補助金が出ている間だけは続くのですが、その結果というのはなかなか見えて来ないというのが今までの経験からそう言わざるを得ないという事で、厚田が合併して地域自治区になってからはそれぞれの団体が活動し、その10年間に出来た組織がそのまま継続しており、そこら辺が自分達の想いと言いますか、その想いと行動が一つになって活動しているからこそ長続きしているんだなという風に感じております。自分としても色々なところに参加をしていかなければというところもあった訳ですが、出来る限り各団体に支援できる立場

になっていければ良いかなという風に考えているので、皆さん方、地域協議会委員の中にもそういう組織に入っていない方がおられましたら、どんどん積極的に参加をしてもらえればありがたいなと思います。そうする事によって、その組織の活動なりがこの人達は何を目指してこういう活動をしているかというのが見えてくるとと思いますので、なかなかお忙しいとは思いますが出来るだけ参加してもらえるとありがたいなと思っております。

佐藤会長：

地域協議会の皆さん達は毎月こういう風に集まっていたいて、地域をどうしようかという事に頭を捻り悩み考えているんですけども、今、支所長が言いましたように主体的に生まれてきた各団体がございますが、各団体がずっと継続して長くそれを続けていくという事は重要な問題がありまして、それは何かと言いますと意欲を持ってそういう団体を立ち上げて活動してきている人達を第一世代というんです。問題はその一世代から次に移る二世目をどうやって作っていくかというのが課題で、一代目は何と言っても会社を作るので、寝食を忘れて会社を建てる為に一生懸命頑張ってという事で、これは一代目社長なんです。問題はその会社を支えるのは二世目で、その二世目が支えきれないと大体三代目で会社を潰すんです。だからその後継者をどうやっていくかというのがどの団体も課題です。特に高齢化してきており、どんどん若い人へとバトンタッチをしていければ良いのですが、そういう層が厚くないと言いますか、どちらかと言いますと高齢者の方が厚くてという事で、頭でっかちな感じでなかなか後継者を次に引き継いでいくというのは難しいけれども、これが一番大きな課題でそれをどうするかというところなんです。

それともう一つ、一番これから皆さんと議論しなければならないのは、複合施設が出来ましたとした時に、今言ったように役所主導で行くと必ず失敗します。先ほども言いましたようにある程度の補助金が出ている間は、お金を貰ってアルバイトであろうと正社員であろうとやる訳ですが、行政だっらずとそこに管理・運営に関する補助金というのは出し続けていけない訳であり、時代的にもそんな事をしている行政はどこにもありません。地域の事は地域でという考え方が今や全国的に浸透していますから、そうすると複合施設なり、「道の駅」を地域の人でどうやってそれを守っていくかという組織とそれからそれを誰がどういう形で運営していくかという事で、これは非常に大きくてこれは会社を運営するのと同じ位大変という感じがしますが、その大変な事をやってのけている所が全国に沢山ありまして、昔は「道の駅」も行政主導だったのですが、行政がそのトイレと駐車場と道路情報を伝えるようなシステムという事で、この3つが揃っていれば「道の駅」だという事です。だから冬の間は全然開けていなくても、その3つさえ揃っていれば「道の駅」な訳ですが、先ほど言った重点「道の駅」は地域が地域を元気にする為に、その拠点に「道の駅」を置くというのが国交省の狙いになる訳です。これは総務省と国交省がほぼ同じ考えですから、「道の駅」を中心として地域が元気にならないといけないし、地域を活性化しないとならないし、そこに多くの地域外の人を呼び込んでお金を落としてもらって、地域がそれによって雇用が生まれたり、色んな事が出来るという事で、それにしたいというのが重点なんです。だからこれは行政主導では全く無い訳ですという事で、皆さん達のご意見も色々いただきたい訳ですけども、支所の方で「道の駅」の視察に数箇所行って来たので、この報告は別途、地域協議会でしていただきたいなと思っているんですけども、何処に行ってもどんな感じだったという感想だけで良いのでお願いします。

渡部主任：

相原主幹と二人で道外の日本海側の「道の駅」を中心に行ってきました。場所は新潟、秋田、山形等で冬の閑散期でどれ位人が入っているかという事で、基本的に思っていたよ

りは人が入っておりまして。雪が無い状態だったので、一概に言えませんが見た箇所としては11箇所程度で、よくある観光地の「道の駅」であったり、ちょっと外れた所にあるようなちょっと強引に「道の駅」にしているような所もあったりして、駐車場の広い所はトラックが止まっていたりしたりしていました。以外に印象に残っているのが、「道の駅」に行っても何を食べたら良いのか、名物は何なのかが解りませんでした。一通りラーメンからうどん、蕎麦や定食までありまして、ここのウリは何なのかと言われても探せませんでした。まるでファミリーレストランのようなイメージを持ちました。新潟に関しては別格に感じた訳ですが、国が運営しているような規模であったり、大きさも想定外な感じで凄い観光地という感じでした。最初は雪のある「道の駅」のイメージを持っていたのですが、全く雪の無い状況で山の中に入ると雪はあるのですが、日本海側は全く雪が無くて想っていたイメージとは違いました。対応してくれた先方の方にも、もの凄い良くしていただいた訳ですけれども、民間の方の対応と行政が持っている施設の対応とは全然違いまして、民間の場合は凄く良くやっていて、どんどんと新しい事を仕掛けていく訳ですが、逆に行政が携わっている所はあまり何かをしようというのは感じられませんでした。ただただ「道の駅」という感じで、あまり行政に関わりすぎるのは宜しくないのかなというイメージを持ち、地域の方々や民間の力を借りてやれば集客に結びつくのかなというイメージを持ちました。まとまっていなくて申し訳ありません。

佐藤会長：        また、まとめたものを協議会でお願いしますという事で、そういうのを少し聞いておくと、今度は皆さん達でそれに関心しながら、この二人に質問が出来るのではと思いますし、これは希望になる訳ですが、今回は日本海側の東北へ行ってくれた訳ですけれども、北海道の「道の駅」を何箇所か見てきて欲しいと思うんです。日本海側でも良いのですが、ほとんど雪に埋もれて休業状態な所という事で、例えば黒松内なんかはそうかと思います。

高橋委員：        やっているとは思いますがね。

佐藤会長：        それでも夏と比べるとという部分はありますので、北海道の何箇所かを見て来ていただきたいなと思います。

皆さんどうでしょうか。皆さんからの意見が出ないうちに18時になってしまいそうですが、次回はたつぷりと時間がありますので、よろしくお願いします。

## 6. その他

### 次回会議等の日程について

平成27年2月24日（火） 18：30 ～ 厚田保健センター 多目的ホール

## 7. 閉会

平成27年2月24日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会  
会 長 佐藤 勝彦